

巻頭言

このたび、「総合教育センター教職課程部門誌」の創刊を迎える運びとなりました。未来の教師を夢見る学生たち、理論と実践の往還を通して教員養成に携わる大学教員、そして学校という教育の舞台に立つ教師、これら三者を結ぶ架け橋となり、共に学び、共に成長し合う場を提供できることに深い感謝と興奮を抱いております。

総合教育センター教職課程部門は、本学の教育理念を踏まえて、教職課程カリキュラムを一元的に管理・運営するとともに、各種教育関係機関および地域社会との密接な連携のもと、実践的指導力を有する教員養成と教員の資質向上に資することを目的としています。これらの目的を達成するために本部門誌の果たす役割はとて大きいと考えます。

創刊号には、平成 29 年に示された教職課程コアカリキュラム、特に教科および教科の指導法に関する科目の内容に関連し、全体構造、授業設計、教材研究などの重要なキーワードを含む貴重な論文が多く収められています。教職課程コアカリキュラムは、共通的に習得すべき資質能力を示すと同時に、地域や学校現場のニーズや大学の自主性や独自性が教職課程に反映され、各大学が責任をもって教師を育成する仕組みを構築することで教職課程全体の質保証を目指すものとされています。本誌がその目的の一端を担い、継続的な教員の資質向上に貢献できることを確信しております。

教育は絶え間ない旅であり、本誌がその一部として、未知の道を共に切り拓き、知識と情熱を注ぎ込みながら、より良い教育の未来を築いていければと願っております。

総合教育センター長
宮川 健